

まもり・はぐくみ・つなぐ「エンガワテラス」の保育園



一般園と基幹園を合わせた新しい園舎では、エンガワテラスによって二つの保育園をつなぎます。エンガワテラスを中心にこどもたちの活動が展開することで、園舎全体が子どもたちの居場所になります。6年間を通して敷地全体が子どもたちの思い出となる保育園を提案します。

2 初期段階から徹底するコスト・工程管理

■フロントローディング型の設計工程

- 与条件的確な把握、デザイン案の比較検討、設計方針についての合意形成を設計の初期段階で進める**先行検討型の設計工程**を提案します。
- 「作業→打合せ→意思決定」サイクルを早め、発注・設計者共に負荷の高い業務を前倒しで行う事で**設計工程全体での業務量を平準化**し、設計品質の向上も実現します。

■物価高騰に対応した確実なコスト管理

- 設計初期段階からコストチームが参画し、**最新の価格動向と同種建築のコストデータ**を基に、コスト管理を徹底します。
- 直近の建築費指標の分析を行うことで、**今後の建築費の推移を反映**したコスト管理を行います。

	令和 8 年度												令和 9 年度													
設計工程	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
	基本設計												実施設計													
	と条件 整理	基本プラン 構造、設備方針	内外装検討 構造、設備調整	基本設計 設計図書	一般図 まとめ	各種詳細・外構 構造、設備調整	積算対応 行政協議	調整																		
コスト管理	コスト検証												概算				コスト検証				概算				調整	
市チェック	●と条件		●基本プラン				●コスト・基本設計図書				●各種詳細				●コスト											
打合せ・対話	隔週の定例会議（図面・模型・CGでイメージ共有）																									
	関係各課との協議																									
	●講演会 ●意見交換会 ●WS																									

■施設運営・更新・修繕コスト低減

- 豊富な経験とシミュレーションにより、**土工事範囲を最小化**、最適な土留め工法を採用し**工事費を削減**します。
- 残土で広場に築山をつくり**処分費を削減**します。
- 合理的な架構計画で**構造躯体量、地盤改良範囲を削減**し、イニシャルコストを削減します。

■メンテナンス性に配慮した仕上げの分離

- 仕上げと躯体を明確に分離**させることで、一般的に耐用年数が短いとされる外壁等の仕上げ部分の修繕・更新を容易にし**メンテナンス性に配慮した計画**とします。
- 日常のメンテナンス性や将来の改修に配慮し、**ローメンテナンス、ローリペア**な流通材を採用します。

■将来的なニーズに柔軟に対応できる設備計画

- 電源幹線や分電盤等には、**予備容量や予備回路を確保**し、**将来の追従性**を高めます。
- 採用設備機器類は、原則として市場における価格競争率が期待できる**汎用品**とし、**増設時の適応性や修繕時の保守部品調達を容易に**すると同時に、**イニシャルコストも縮減**します。**維持管理性の向上と更新時の工事の容易性を実現**します。

3 豊富な経験と実績を活かした専門家による設計チーム

■多数の保育園建築の実績を有する設計チーム

- 自然素材があふれる保育園設計や防災や環境に配慮した保育園設計**の経験が豊富な設計事務所が設計チームを組みます。
- 互いの得意とする分野を共創し、**こどもたちの感性を育み、誰もが使いやすい新しい保育園**の姿を提案します。

■迅速で分かりやすいワンストップ型の連絡体制

- 代表企業を統括役とした**ワンストップ型組織**とし、発注者からの**要望を迅速にくみ上げ、提案・方針決定**します。
- チーム内では代表事務所と協力事務所が常に同じテーブルで情報共有と方針を協議し、**チーム内のベクトルを合わせます**。



<代表会社の保育園実績>



1 まちなみに受け込む調和型園舎

■活動の中心となるエンガワテラス

- 園舎はエンガワテラスを軸としたL型配置とし、**最大限園庭を広く確保**します。
- ゆるやかにカーブする半屋外のエンガワテラスが園庭をおおらかに包み込み、**子供たちの内外のアクティビティをシームレスにつなぎます**。
- エンガワテラスは各機能を連結する「園舎の背骨」ともなります。保育室や多目的室をテラスに沿って配置することで、**自由に安全に園庭へとアクセス可能**になり、**保育士にとっても見守りやすい構成**となります。
- 半屋外のエンガワテラスで過ごすことで**敷地内の植栽、日々の天気や季節の移ろいなど自然のエレメントを身近に感じる**ことができ、子供たちの情緒が育まれます。

■町並みと調和するだんだんルーフ

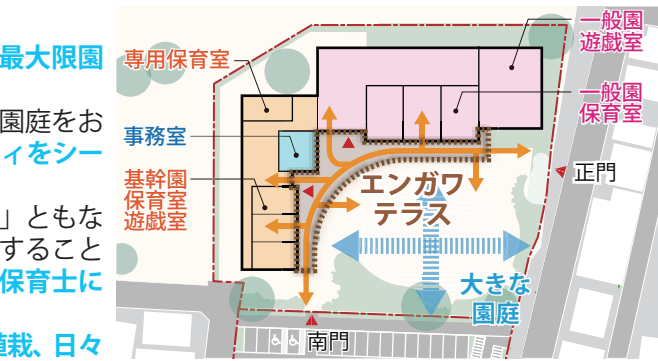
- 建物の東には遊技室を、南側には多目的テラスを配置することで**敷地周辺に対して高さを抑える計画**とします。
- 建物西側のボリュームと遊技場は屋根形状に段差をつけてボリュームを分割することで、**周辺のまちなみとの調和**を図り**ヒューマンスケールで圧迫感の無い保育園**を提案します。

■柏の緑と連続するまちかどグリーン

- 現園舎の大きなケヤキの木は**シンボルツリーとして大切に保全**することを検討します。
- 新園舎、共用駐車場敷地の四隅には**まちかどグリーン**と名付けた植栽スペースを設けることで、まちの中に**有機的な緑のネットワークを形成**します。
- 敷地境界には植栽帯を巡らせることで駐車スペースと歩道の間に距離を取り、駐車場の圧迫感を軽減しながら**緑豊かな風景を整備**します。



<まちかどグリーンダイアグラム>



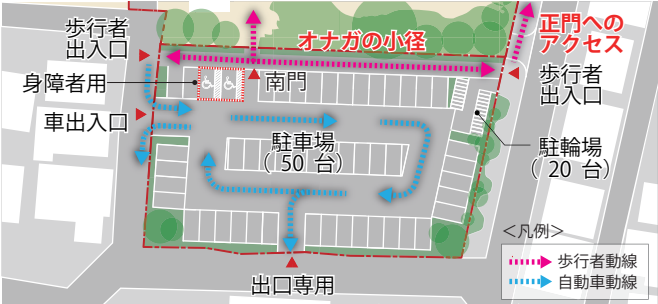
<エンガワテラスダイアグラム>



<だんだんルーフダイアグラム>

■みんなが安全・快適に使える共用駐車場

- 共用駐車場北側に、東西どちらからもアクセスのできる歩行者専用通路「**オナガの小径**」を設け、**歩車分離**を行います。
- 駐車場入り口は交通量の多い東側を避けて2カ所設けることで、**敷地外の渋滞や路上駐車対策**を行います。
- 敷地北東に駐輪場を配置することで**正門へのアクセスに配慮**するとともに、保育園側に南門を設けることで**駐車場利用者のエントランスまでの最短ルートも確保**します。

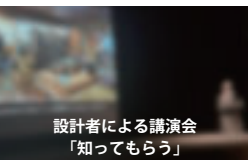


<共用駐車場ダイアグラム>

4 みんなで育む保育の拠点

■まちの人たちと意識を共有する3つのステップ

- 設計者による講演会を開催**し、計画案の説明を行い、コンセプトやどのような施設になるのかを知ってもらいます。
- 設計者を囲んでの意見交換会を開催**し、利用者や周辺住民の方たちと信頼関係を築けるような、**率直な意見交換**をします。
- 子供も参加できる体験型ワークショップを開催**し、実際に利用する世代の子供たちと一緒にモノづくりを行います。



設計者による講演会「知ってもらう」



意見交換会の開催「信頼関係の構築」



ワークショップ「こどもとつくる」

■基本設計に意見を反映する対話型ワークショップ

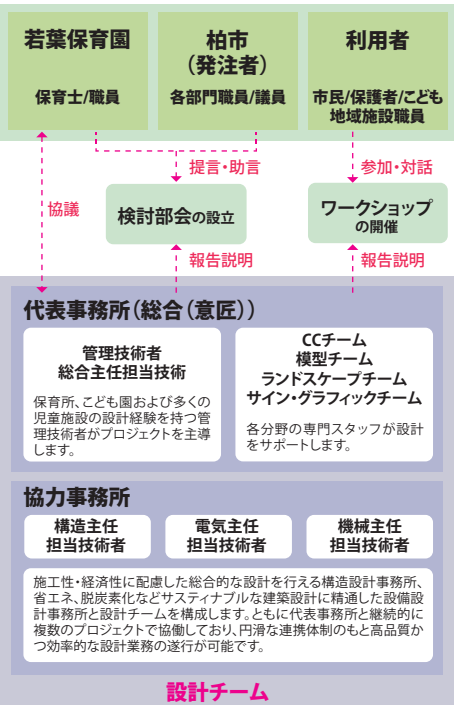
- 各ステップのワークショップでは、模型やCGパース使い、率直な意見や要望をとりまとめ、基本設計に反映し、合意形成を図ります。
- きめ細やかな地域との関わりにより、**地域に寄り添い、長く親しまれる施設を実現させます**。



<模型を使ったWS>



<3Dモデルを使ったWS>



<意思伝達を迅速に行うチーム構成>